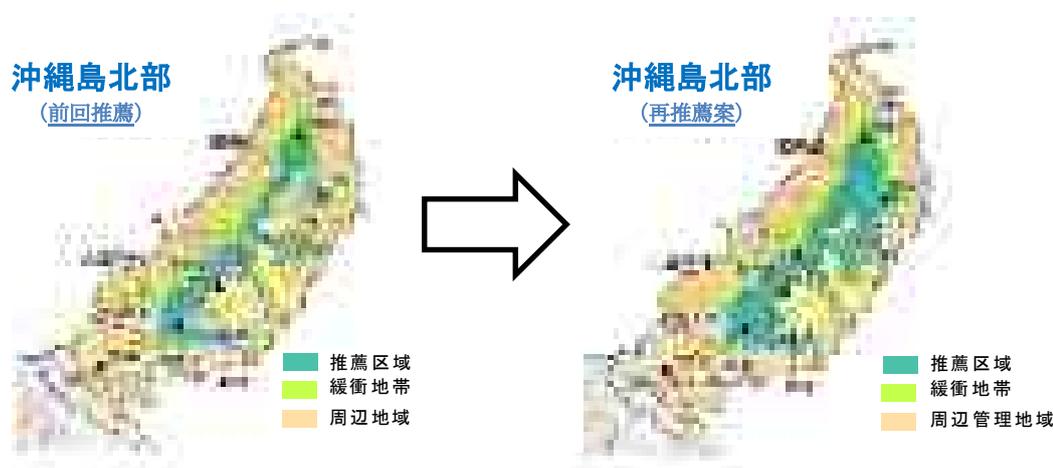


「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に関する
推薦内容の変更点について（IUCN 指摘への対応）

環境省
林野庁

- 我が国が世界遺産へ推薦した「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」について、2018年5月4日、世界遺産委員会の諮問機関（IUCN）から、記載延期の勧告及び指摘をまとめた評価結果が示された。
- 再推薦に向け、IUCN の指摘を踏まえて、以下のとおり推薦内容を変更した。

IUCN の主な指摘	対応(推薦内容の変更点)
世界自然遺産の評価基準「ix) 生態系」は合致しないが、 <u>以下2点に対応すれば評価基準「x) 生物多様性」に該当する可能性がある。</u>	評価基準は「 <u>x) 生物多様性</u> 」のみを適用。
推薦地の連続性の観点で、 <u>沖縄の北部訓練場返還地が重要な位置づけにあるが、現段階では推薦地に含まれていない。</u>	<u>沖縄の北部訓練場返還地をやんばる国立公園及びやんばる森林生態系保護地域に指定し、推薦地に追加。</u> (※下図参照)
推薦地は連続性に欠け、 <u>遺産の価値の証明に不必要な分断された小規模(100ha 以下)な区域が複数含まれている。</u>	分断された小規模な区域を可能な限りつなげ、やむを得ない場合は推薦地から除くことで、 <u>分断された小規模な区域を解消。</u> (※下図参照)



北部訓練場返還地を推薦地に追加、飛び地は推薦地から除くことで、連続性のある推薦地へ変更。

○なお、IUCNからのその他の指摘についても、以下のとおり対応。

IUCN 指摘	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・北部訓練場の残る地域について、<u>米軍との調整のさらなる発展</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北部訓練場の残る地域について、米国との情報共有、外来種対策の協力、日米間の意見交換を継続しており、これらの<u>協力体制を推薦書及び包括的管理計画に記載</u>。
<ul style="list-style-type: none"> ・ノネコ等<u>外来種対策の推進</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>奄美大島においてノネコ管理計画を策定し、計画に基づくノネコの捕獲及び譲渡等の取組を実施</u>。 ・<u>侵略的外来種の侵入防止のためのラインセンサスを実施</u>。
<ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある<u>観光管理の仕組みの構築</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域毎の観光利用計画の策定、利用ルールの導入等を推進</u>。
<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種や固有種等の<u>総合的なモニタリングの実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年8月に、<u>モニタリング計画を策定</u>。